

社団 法人 長崎青年協会

近 春

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

1996年1月1日 社団法人長崎青年協会会報 第198号

SLOGAN

己れに嚴 人に寛



新春対談（於：初天城）

掲示板

1月5日	理事会、仕事始め	2月5日	理事会
12~15日	研修旅行（北海道）	15日	理事会
16日	理事会	21日	例会
23日	例会		

創立／昭和44年3月1日 社団法人設立／昭和59年3月23日

Monthly NYA no.198 January 1996

新春号

12・1合併号

発行 長崎市魚の町7-7
(社)長崎青年協会
会長 新ヶ江憲和
編集 広報委員会
広報委員長 渡部一夫

会長挨拶

会長 新ヶ江 憲和

新年明けましておめでとうございます。皆様にはすがすがしい気持ちで新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は4月当初より対外事業はなるべくお断りして内部の充実に努めるつもりでスタートしましたが、みなとまつりを初め、南アフリカ文化交流会、飛帆、青少年体験クルーズ、ふうせんバレー、留学生と市民の集い他いろんな事業に参加をし、会員の皆様には大変に御苦労をかけたと思います。また御家族の皆様方には運動会、バスツアー、おくんち前夜祭、おくんち広場と内部事業にも多数出席をいただき心より感謝しております。有り難うございました。

昨年はこのように事業に追われた慌ただしい一年でしたが、私が考えます、事業を通しての会員同士の交流は充分とは言わないまでもある程度果たせたのではないかと思います。本年度も余すところ、あと3ヶ月となってなって参りましたが、もう一度初心に帰って協会活動の基本である委員会、理事会を見直しながら内部の充実に努め、次年度の田川体制にバトンタッチして行きたいと思います。この一年が皆様にとって良い年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

11月臨時総会

総務委員会 寺本正弘

平成7年11月21日(火)、ホテルニュー長崎に於いて現会員数98名中、出席者64名、委任状提出23名、合計87名で総会が成立し開催されました。

議長 渡辺 秀孝君(副会長)

議事録作成人 河野 文彦君(会員開発)

署名人 新ヶ江憲和君(会長)

前田 哲也君(地域事業)

以上議長団のもとに、第1号議案「平成7年度補正予算案」は、田川事務局長による予算案の説明で無事承認。

次に第2号議案「平成8年度役員選任の件」も選出者全員承認されました。

そして、白山総務委員長による「定款改定審議」も、改定案の説明後承認されました。

以上渡辺議長のスムーズな進行のもと無事終了いたしました。なお私事ではありますが、式次第で1号議案と2号議案が入れ代わっていた事を反省すると共に、議長を初め会員の方に深くお詫びいたします。

最後に出席者はもとより委任状提出100%を目指し、電話や勤務先への委任状FAXなど努力してきたつもりですが、残念ながらいくつかの問題点を残しましたが会員の皆様方にも又、自分にも問い合わせて終わります。

11月例会

例会委員会 三瀬 健司

臨時総会後の例会は、軽快な音楽が流れるリフレッシュタイムから始まりました。スムーズな流れで委員会報告・同好会報告が終り、熱血委員会になりました。今回は熱血役員会という事で、新ヶ江会長以下役員の方々による熱血が行なわれました。会長の合図の元協会憲章の意味をおもしろおかしくコント形式で披露していただきました。まさか役員の皆様がここまでしてくれるとは思いませんでした。またよろこびのコーナーでは11月に多数の事業が重なり、思いもよらぬ成果に我々例会委員会も笑いが止まりませんでした。今後とも皆様の御協力をお願いし、よろこびのコーナーを盛り上げていただきと思いますと共に例会全体も盛り上げていただきたいと思います。最後に初めての司会で緊張の連続、やっぱり松島委員長みたいにアドリブがきく駄屋になるのは相当時間がかかるなと思いました。



被爆50周年記念事業「留学生と市民の集い」

(平成7年11月19日)

「地球市民としての平和を語る」

主催 「留学生と市民の集い」実行委員会

主管 長崎市・財長崎平和推進協会・社長崎青年協会

後援 野母商船株・社長崎歴史帆船協会



留学生のつどいを終えて

地域事業委員会

(遊び) 長縄とび、ドッヂボールにTry。国籍を越えて交流を深めました。(前田哲也)



(学ぶ) 留学生の流暢な日本語での平和に対する考えに感心させられました。(高見誠一郎)

(語る) ゲームや独奏・合唱にて、地球市民レベルでの交流が出来楽しい時間が過ごせた。(松尾 浩)

参加頂いた留学生・市民・他御協力いただいた方々に感謝致します。



平成俗語辞典

(自称) 俗語研究家 中山一郎

【I D野球】 あらゆるメディアを通じて、敵を挑発しリズムを狂わせる、毒舌型陥れ野球。

【安保条約】 外国人タレントの日本での仕事を保障する条約。

【チロー】 彼のおかげで、やっと自分の名前が誇れるようになりました。
【ウルトラC】 体をCの字に曲げること。

【A P E C】 偲い人専用のパック旅行の別称。

【カズ】 最近、奥さんにイエローカードを渡したらしい。

【キムタク】 キムチ漬けされた沢庵のこと。おもに30代の女性に人気があるようだ。
【スキヤンダル】 スキヤンティ一枚でサンダルをつっかけて街を歩きまわるようなこと。

【センセーション】 生徒の目の前で先生が放尿するようなこと。

【相対性理論】 永遠に続く男女間のトラブルを説いた理論。

【たまむしいろ】 玉虫の色のこと。

【ノンフィクション】 フィクションよりも嘘が多いこと。

【P H S】 家族に内緒で持つ電話。

【プロフェッショナル】 「俺はプロだ!」という男に限って仕事ができない。

【ボア】 某宗教団体の極刑に用いられる言葉、また、某レスラーの空手チョップのときには發せられる言葉。

【マインドコントロール】 いわゆる、日本人の教育方針です。

【マスコミ】 新聞、雑誌等からマスターべーションのやり方を伝達すること。

【マイクドラマ】 人は金で買えても栄光は金では買えないと教訓を与えた、不朽不滅のスポーツ感動ドラマ。

【吉宗】 「よっそう」

【リエママ】 金のためなら娘を脱がし、痩せ衰えるまで働かせる、現代の鬼畜と呼ばれている女性。

【リストラ】 愛人と別れること、もしくは数を減らすこと。

【ワイドショー】 も～やめてっ! バカヤロ～!

注) 以上の文章は、あくまでもパロディです。よって教養と思想は求めないで下さい。

著者

新春対談

新ヶ江憲和会長

田川俊幸次年度会長

聞き手 岩満会員室長
渡部広報委員長
(敬称略)

Q. 会長として当初の目的は達成されましたか？

新ヶ江. 理事会における資料提出などの基本がおろそかにされた部分もありましたが、事業は会員同士が仲よくなる、親睦の為の手段として内部の充実が図れたようにも思います。

Q. 来年度の目標をお聞かせ下さい。

田川. 1委員会1事業を基本として、事業を通じて親睦を図るということは今年度に引き続き行なうようしています。また、若手の会員から新しいリーダーが育つ年になればと思います。

Q. 理事とその他の会員との意識の差についてどう思われますか？

新ヶ江. 青年協会を楽しい仲間と本音で話し合える場、息抜きの場としてもらえればそれが出席率の向上や意識の高まりにつながるのではないかと思います。

Q. 継続事業はどうされますか？

新ヶ江. 当初は内部充実に努める為、対外事業は全て断るつもりでいましたが、それを通じてとても盛り上がった委員会がありました。ある事業をする為、その資金不足を補う事業をするというのはやめて欲しいと思います。

田川. おくんち、文化財清掃、餅つきは継続したいと思います。また、与えられたものをやるのではなく青年協会らしい企画を出し、可能ならば他団体とタイアップしたいと思っています。

Q. おくんちの事業についてどう思われますか？

新ヶ江. 1から作る事業として全





会員のまとまりができる事業だと思います。おくんち最終日、サウナでの気持ち良さは何とも言えません。

Q. 各委員会の活動量の差についてどう思われますか?

田川. 単年度別において、事業を平等に分けるのは難しいと思います。

新ヶ江. また、委員会によっても違うと思います。言われたことをおざなりでやる人もいれば自分達はこんな事がしたいといってどんどんやる。つまり忙し

くなる委員会もあります。そして活気がでてきます。

Q. 25周年が過ぎ30周年を迎えるに当たっての特別な委員会を作られますか?

田川. 特別な委員会は作りませんが、1つの委員会に課題として30周年への調査、研究はしてもらうつもりです。

Q. 行政や市民の皆さんとの関わり方をどうお考えですか?

新ヶ江. 青年協会を認知させる為、何でも受け入れる時代がありました、今はそんな時代ではないと思います。数年前に比べ協会の知名度は数段アップしていると思いますし、今はむしろ、自分達のやりたい企画でアピールするようになってきていると思います。また、市民の皆さんとの関わりにおいては福祉、ボランティアとしての関わりが大事です。

田川. 知名度を上げる為の活動をすべきでなく、今まで通りの活動を通じて我々の姿を見てくれた若い人が、自ら入会して頂くのが理想です。

新ヶ江. 1つ1つの事業の積重ねを大事にして、事業の質を選びながらいかなければならぬと思います。

Q. 協会活動と仕事・家庭との両立はどうされていますか?

田川. 協会に入る前より、むしろ留守が多い分、家庭を大事にしていると思っています。

新ヶ江. 時間を大事に使うようになりました。たまに家にいる夜など、子供から「今日はどこにも行かないの?」と聞かれたりしますが、自分への愛情は変わらないと思います。ただし、女房は別です。(笑)

Q. 今の協会の中心メンバーが卒業する、その時の協会の運営に不安はないですか?

新ヶ江. 若い会員の意識の高まりを期待してるので心配ていません。

田川. 我々の卒業までに120人の体制になつていればという気持ちでいます。その為に着実にメンバー増を目指したいと思います。



(初天城にて)

家族懇親バスツアー in 波戸岬&呼子

平成7年11月12日(日)

11月12日、バス3台に38家族総参加者135名が分乗し、午前8時30分ポートアリーナ（魚市跡）を出発。

イヌバス☆ネコバス☆ウサギバス各号車に交流委員会メンバーがバスガイド役となり、3択クイズ、Carビンゴ等ゲームで目的地到着までの長い道のりを忘れて頂くため努力いたしました。

その中でも、“プロモーションビデオ”制作には、異常な程「ちから」が入り、出来上がりも、前日深夜までと、ハードスケジュールでした。

♪♪パット♪♪～ 呼子行こう♪♪～

波戸岬到着（予定より遅れました事、おわび申し上げます）昼食中のレクレーションの後すばらしい天気のなか、巨大迷路のタイムトライアル、又、奥様方は屋台村で、ザザエのツボ焼でグルメと短い時間でしたが、波戸岬の名物を満喫して頂いたと思います。

そして最後に呼子へ移動し、半潜水船『ジーラ号』に乗船海の中の自然に泳ぐさかなたちに子供の皆さんには、思い出が一つ増えたと思います。

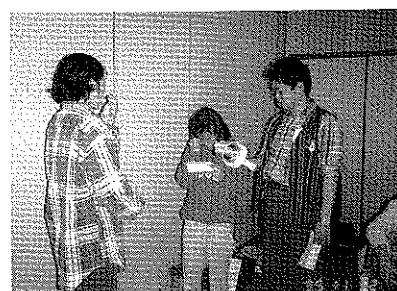
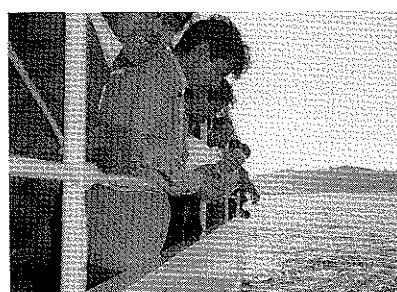
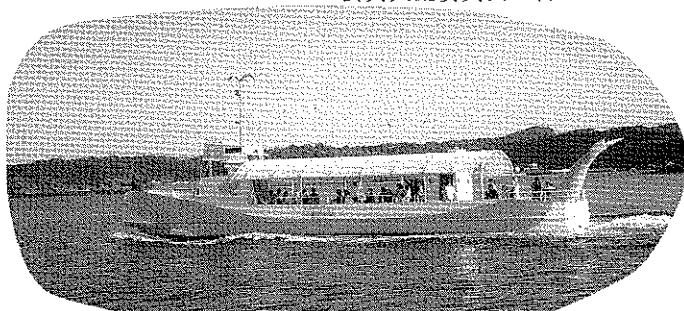
♪♪パット♪♪～ 呼子行こう♪♪～ 出発から帰路到着まで覚えたくなくとも、覚えてしまうほどくりかえした。

“プロモーションビデオ”きっと皆様の耳に目に思い出としていつまでも残ってると思います（スママセン）

最後に参加頂いた会員ならびに家族の方々、たいへんおつかれ様でした。ありがとうございました。

♪♪パット♪♪～ 呼子行こう♪♪～

会員交流委員会 吉田正幸



'95忘年懇親会

平成7年12月3日(日)

毎年恒例の忘年懇親会、今年の会場は、風頭の初天城。

すばらしい夜景を観ながら開会し、会長並びにOB会長の御挨拶を頂いた後、今年卒業されたOBの方々の紹介とつづきました。

今年は、委員会対抗かくし芸大会を行い、各委員会それぞれ趣向を凝らした芸に盛り上りました。その中には、練習を何度も行いながら、賞をもらえなかったチームもあれば、ほとんど“一夜漬け”的チームが賞をしっかりと勝ち取るというように『芸の天才』の存在を思い知りました。今回見事に優勝したのは、企画事業委員会のく剣道くです。スポーツマン西口委員長の思いもよらない芸にみんな拍手に爆笑とウケにウケた出し物でした。個人賞MVPは料理の鉄人で鹿賀丈司を完璧に演じた総務委員会の片江豊君です。

最後に、当日審査員として厳正な審査もして頂いた、三浦OB会長及び本年度卒業されたOBの皆様、御多忙の中御出席頂きありがとうございました。又、会員の皆様方、この一年たいへんお疲れ様でした。

会員交流委員会 吉田正幸



<新人紹介>



山室 敏紀 君

S. 37. 3. 5生 O型
 勤務先 長崎サン工芸
 長崎市高丘2丁目5-57
 自宅 長崎市星取2丁目7-33

精一杯頑張ります

結婚おめでとう



企画事業委員会の山崎伸一君が9月17日、真美さんとめでたくゴールイン。
 末永くお幸せに…。

平成8年度 (社)長崎青年協会理事

会長	長田川俊幸	事務局長	伊藤克樹
副会長	岩満克弥	総務委員長	荒内賢治
△	田中潤介	例会委員長	丸尾隆
総務室長	岡田康信	広報委員長	原喜一郎
会員室長	白山光男	研修委員長	峰章二
事業室長	城谷富好	会員交流委員長	広瀬健司
企画室長	山口丈司	会員開発委員長	梅田憲
直前会長	新ヶ江憲和	地域事業委員長	西崎達也
監事	新井正実	地域開発委員長	川原哲也
△	板倉和人	企画委員長	馬見塚純治
△	和田正信	福祉委員長	清水昭雄



広報委員会からの年賀状

新年明けましておめでとうございます。

今年度の広報誌もあと2号を残すのみとなりました。しかも、その最終号が光栄にも通算200号となります。歴代の広報委員会の先輩方が積み上げてこられたその重みをふまえつつ、微力ながら、委員会メンバー一同全力を尽くして取り組んで行きたいと思います。

平成八年 元旦

広報委員会一同